

## けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会が設立されました

けいはんな学研都市では、けいはんなベンチャービレッジをはじめ、元気な研究開発型中小ベンチャー企業が新たな立地を始めています。

その中で、この地域から、けいはんな学研都市にふさわしい環境を維持発展させ、それぞれの企業が交流・親睦を図るとともに、技術交流や事業発展のための連携を始めていこうという気運が高まり、精華町と財団法人関西文化学術研究都市推進機構が事務局となってまちづくり協議会が設立されました。

この協議会は、企業交流のプラットフォームとしての機能や企業間連携、新たなビジネスチャンスの創出への期待のもと、現在20社が参加しています。

協議会について会長の株式会社広和工業の広瀬社長に、現状と今後の抱負をお聞きしました。



けいはんな学研都市精華地区  
まちづくり協議会会長 広瀬 亮二氏

### ●協議会のきっかけ

私自身は、住居が精華町にあり、散歩の機会にベンチャービレッジの募集を知り、この精華町に本社工場を移転することにしました。それぞれの企業については、立地の考えやタイミングはそれぞれ異なりますが、今は同じ地域で企業活動をする仲間として、情報交換や交流をもっと深めることができると考えていたところ、精華町や学研都市推進機構の働きもあって協議会を設立することができました。

### ●直近の取組

まだ、設立されたばかりなので、まずは協議会そのものを知ってもらうことを考えています。具体的にはまず、来年3月くらいまでに協議会のホームページを立ち上げ、協議会の活動と各会員企業の紹介をしていく予定です。

### ●今後の活動

今、協議会では、各企業においての人材確保や育成を共同でできないかということや地域との交流とし

て、けいはんなプラザの日時計の活用やホテルと連携した来客の宿泊整備、会員間の企業見学、各企業周辺の環境美化等について話し合い、検討しています。

その中で、同じ学研都市にある津田サイエンスヒルズが先行してまちづくり協議会を設立し様々な事業を進めているので、そこを手本として進めながら精華独自のあり方を探ろうとしています。将来的には、学研それぞれのクラスター間の交流を進めていければと考えています。

### ●まちづくり協議会がめざす理想の姿

われわれが、精華町に立地していることを地域の人によく知ってもらい、製造業そのものが親しみやすく、明るいイメージになっていくことを目指しています。そのために、たとえば、気軽に地元の学校の工場見学を引き受けたり、地元の行事に参加したりできるようなことを考えています。同じ住人の目線から「働きやすい」「住みやすい」職住のバランスのとれたまちづくりに力を尽くすことによって、まちが誇れる企業になることが理想なのです。

### けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会会員企業

(株)イチグチ、(株)ウイスト、(株)ウィル、(株)井上製作所、カゴヤ・ジャパン(株)、(株)加地、環境衛生薬品(株)、(社)関西電子工業振興センター、ケーピーエス工業(株)、(株)広和工業、(株)サンライズジャパン、(株)ジーンズ、(株)タカコ、高由金属(株)、東英産業(株)、日本伸縮管(株)、日本制御(株)、(株)プロテックス・ジャパン、(株)フォトン、(株)モリシタ

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
けいはんな分室

TEL:0774-95-5027 FAX:0774-98-2202  
E-mail:keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp